

第 12 回市民説明会（オープンハウス・説明会）

【実施概要】

1. 日時・場所

9月4日（月曜日）北区民センター（北区）

オープンハウス 13時00分 ～ 18時00分

説明会 18時30分 ～ 19時30分

2. 来場者数

100人程度（内訳：オープンハウス 約80人、説明会 約20人）

3. 当日の様子



4. オープンハウスでいただいた意見

〈期待の声〉

- ・ 招致活動を頑張ってほしい。
- ・ 札幌市は良い施策もあるので頑張ってほしい。
- ・ 賛成である。経費を惜しまず、良い施設を造るべきである。
- ・ 札幌で大会を開催し、札幌の若い世代にも大会に従事してもらうことは非常

に貴重な経験となる。国際感覚を磨くことにもなる。

- ・札幌に大会が来てほしい。盛り上がるから。
- ・外国の人たちもたくさん来てくれるから大会をやってほしい。

〈不安や懸念の声〉

- ・まちづくり戦略ビジョン、さっぽろ未来創生プランにオリパラのことが書かれていない（オリパラの有無で何が変わるか等）。
- ・観光客を増やすと言っているが、交通手段の検討がしっかりなされていない。渋滞するのは困る。
- ・広告代理店の問題が出ている。東京大会から何も変わっていない。
- ・札幌ドームの維持費が問題。新月寒体育館を造っても、きたえーると取り合いになるのでは。
- ・雪エネルギーを使ったり、まちづくりを巻き込んでスポーツ施設を考えた方がいい。
- ・意向を聞くと言いながら、2030年大会の決定まで時間がない。2030年大会ありきの説明・パネルで、本当に市民の声を聞くと感じられない。
- ・1972年とは時代背景が違うのだからやらなくて良い。
- ・住民投票を行うべき。アンケートであれば誤差を考慮するなり、年代ごとに傾斜をつけるべき（若い人は少ないので対象者を2割増やすとか）。
- ・札幌の将来のために子育て対策が必要。オリパラは役に立たない。
- ・オリパラは反対。ワールドカップをやっていれば十分。スポーツイベントには賛成だが、オリパラは不要。
- ・どうせ不正や汚職が起きる。
- ・オリパラには賛成だが、既存の施設でやることには反対。札幌の会場はもっと象徴的で立派な施設を造るべき。
- ・招致に携わっている職員は何人いるのか。その人件費も税金であるため、優秀な職員をもっと違う部署で使ったらよい。
- ・物価が上がっているが、本当に税金を投入しないでできるのか。
- ・長野ではなく、手稲・藤野でソリ競技を行うべき、そこは残念。
- ・オリパラの意義が昔と変わってきている中で、札幌で開催する必要があるのか。

5. 説明会でいただいた質問や意見

- ・今回の説明が 2030 年ありきの話になっているが、市民の声を全然聞いていないのではないか。
- ・1 万人の意向調査で賛成が 52%だから進めるということだが、回収率は 57.7%で 1 万人の中で 3000 人しか賛成派がいなかったということ。
- ・意向調査で無回答だった人の中には、もともと関心がない人や潜在的に反対の人などがいたはずだ。
- ・施設整備費の 770 億円のうち市の負担が 490 億円ということだが、一般財源、市債を発行するということは 20~30 年かけて償還するという。その時に、結局 100 億近い利息が出るのではないか。
- ・770 億円と 490 億円の差額は国の補助金や交付税ということだが、国の補助金も交付税も札幌市民の税金が入っている。国が負担するのだから札幌市の負担にはならないという考えはいかがなものかと思う。
- ・長野のソリ競技の復旧作業費用などはだれが負担するのか。長野はどのような計画を考えているのか。
- ・大会運営費は原則税金を使わないということだが、原則の意味を教えてください。
- ・なぜ 2030 年招致にこだわっているのか。東京大会で問題があったからには、その総括をしてから次の招致を行うというのが自然な考え方かと思う。
- ・施設整備費がオリンピック・パラリンピックの有無に関わらずかかるのであれば、大会招致に関係なく粛々と施設整備すれば良いのではないか。
- ・2030 年にこだわる理由はなにか。冬季オリンピックを開催できる都市がどんどんなくなっているという話もあり、IOC の方からオリンピックを開かせてほしいと言ってくるのではないか。
- ・オリンピックのために使われる施設整備費用は本当にないのか疑問だ。
- ・札幌でのオリンピックでしっかりとスポンサーが付くのか。足りなくなった場合に税金が使われる可能性がかなり高いのでは。
- ・積極的に賛成する人が圧倒的多数でなければやってはいけないと思う。